

みやぎ 働く女性図鑑

#09 旭陽電気株式会社



KYOKUYO

旭陽電気株式会社 宮城工場

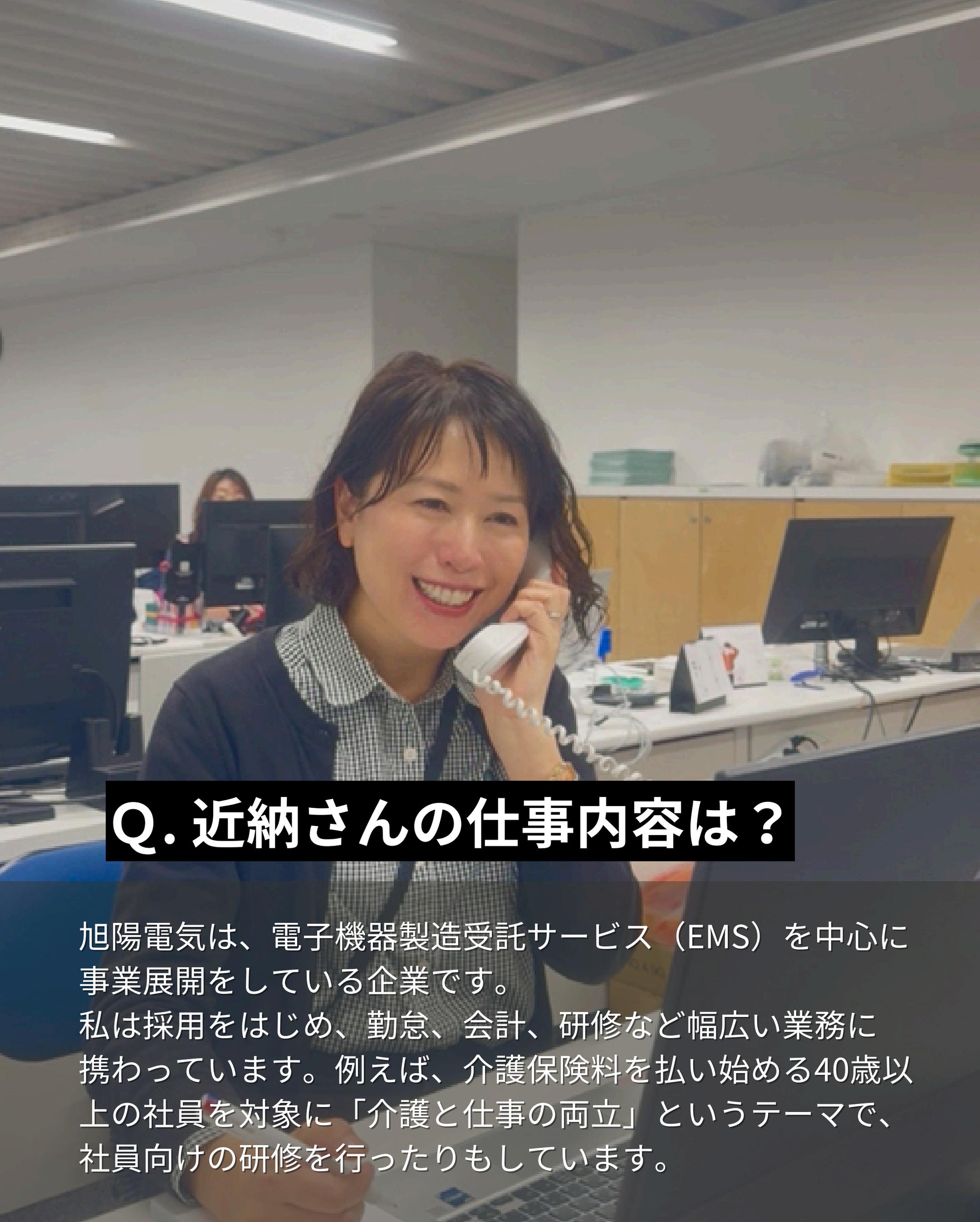
近納 幸恵

Konnou Sachie

#旭陽電気株式会社

#サブリーダー

#縁の下の力持ち

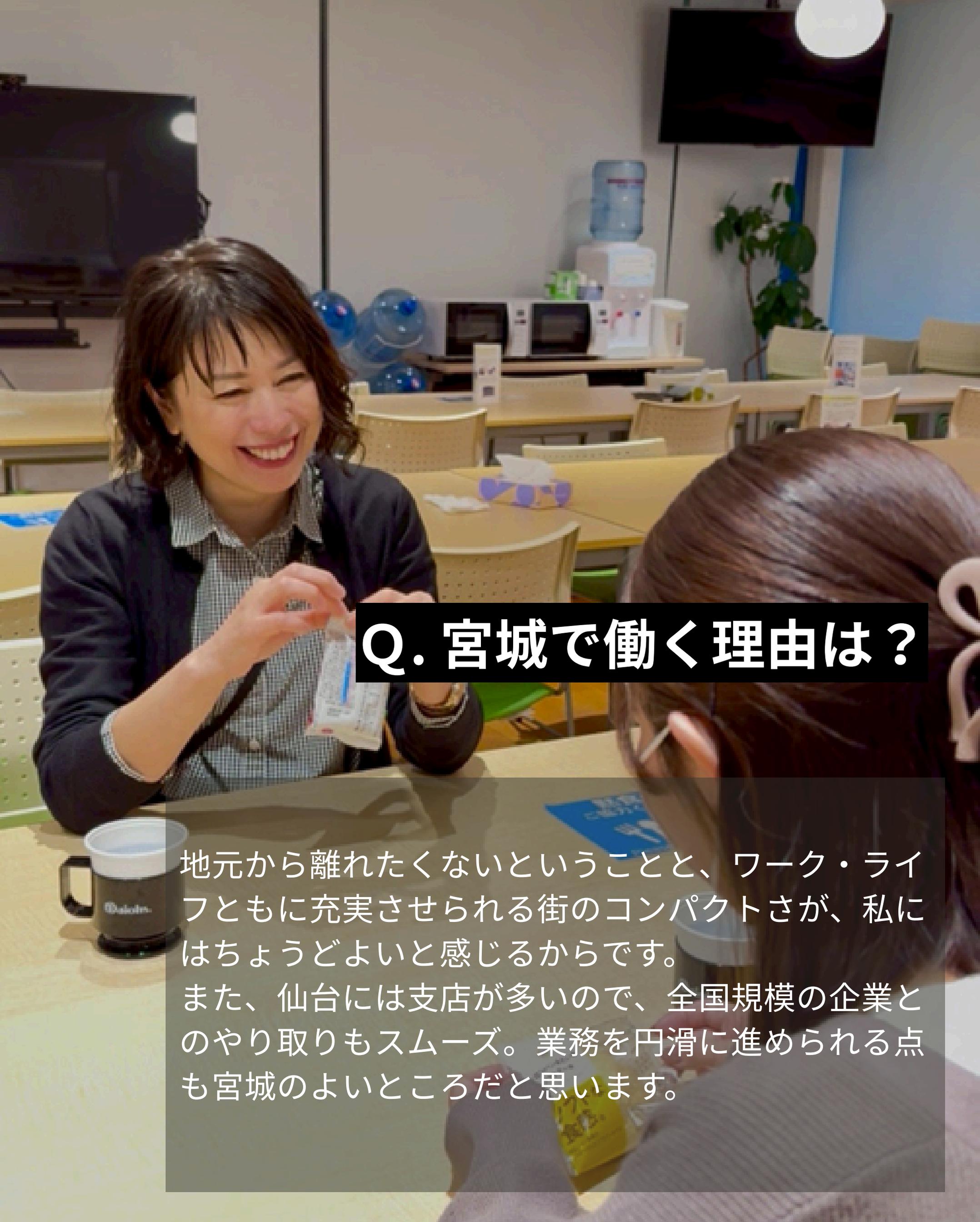
A woman with dark hair, wearing a dark blue cardigan over a patterned blouse, is smiling and talking on a white corded telephone. She is in an office setting with computer monitors and desks visible in the background.

## Q. 近納さんの仕事内容は？

旭陽電気は、電子機器製造受託サービス（EMS）を中心に事業展開をしている企業です。私は採用をはじめ、勤怠、会計、研修など幅広い業務に携わっています。例えば、介護保険料を払い始める40歳以上の社員を対象に「介護と仕事の両立」というテーマで、社員向けの研修を行ったりもしています。

## Q.入社した経緯は？

私は中途採用で入社しました。子どもの進学タイミングでキャリアチェンジを考えていて、前職の取引先でもあった旭陽電気に声をかけてもらったことがきっかけです。それまでは時短勤務でしたが、今後の教育費なども考慮してフルタイムで働けることも魅力でした。ライフステージが変わるタイミングは、働き方の転機にもなりやすいのだと思います。

A woman with dark hair, wearing a dark blue jacket over a patterned shirt, is sitting at a table in a meeting room. She is smiling and looking towards the camera while holding a small white packet. In the background, there are several rows of tables and chairs, a water dispenser, and a potted plant. A black box with a white circle is visible in the top right corner of the image.

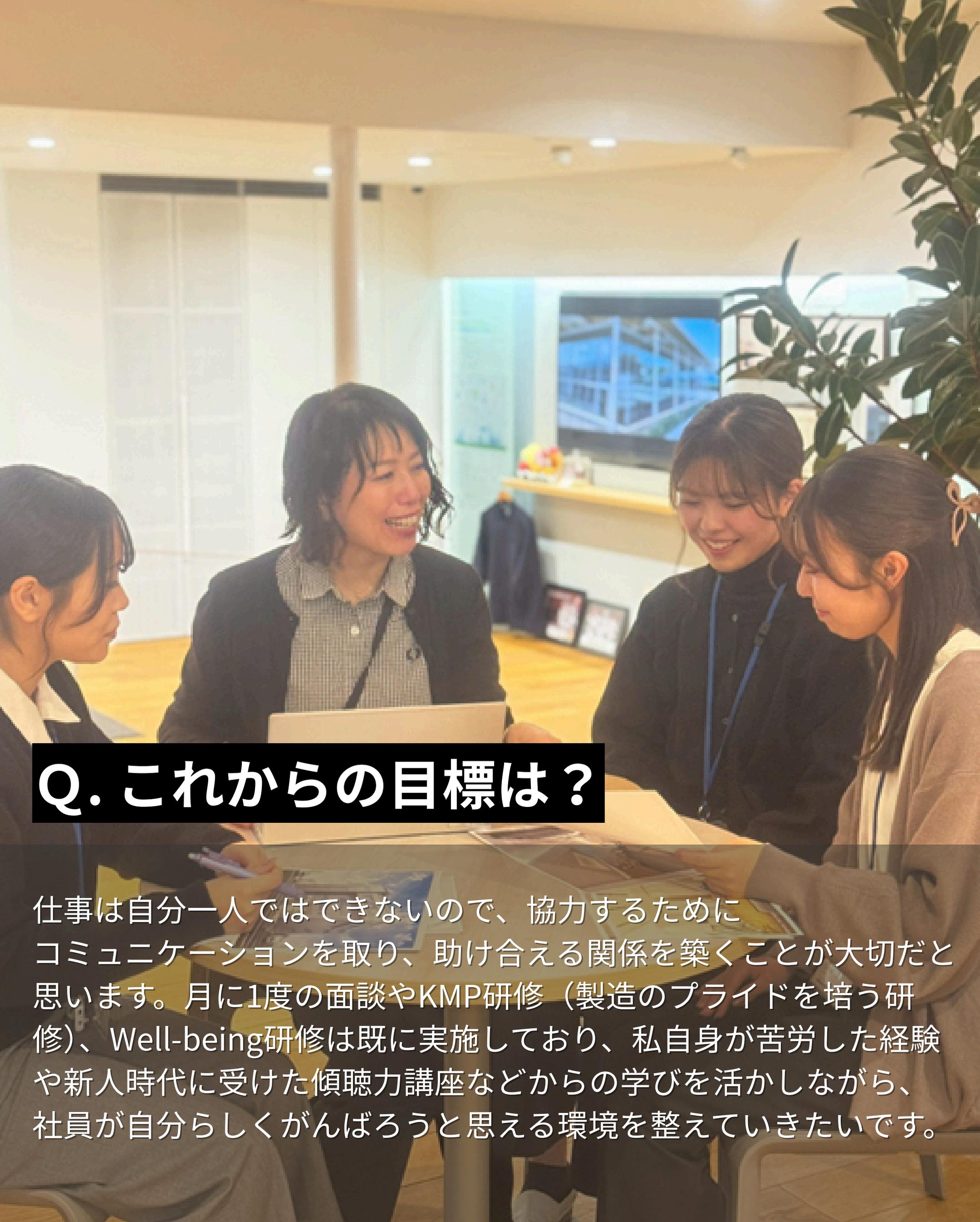
## Q. 宮城で働く理由は？

地元から離れたたくないということと、ワーク・ライフともに充実させられる街のコンパクトさが、私にはちょうどよいと感じるからです。また、仙台には支店が多いので、全国規模の企業とのやり取りもスムーズ。業務を円滑に進められる点も宮城のよいところだと思います。

# Q. 大変だと思ったことは？

入社当時は総務部がなく、ロールモデルもいませんでした。それまでは社員が本来の業務をやりながら行っていた総務的な仕事を1人で引き受ける形だったため、上司がいない不安を感じながら手探りで業務を進めなければならないことが一番大変でした。

「人と人とうまくつなげるように」と意識して仕事にあたり、時間をかけて少しずつ改善を重ねていきました。

A photograph of four women in an office environment. They are gathered around a table, looking at a laptop screen. The woman in the center is smiling and looking at the screen. The other three women are also looking at the screen with interest. The background shows a modern office space with large windows and a potted plant.

## Q. これからの目標は？

仕事は自分一人ではできないので、協力するためにコミュニケーションを取り、助け合える関係を築くことが大切だと思います。月に1度の面談やKMP研修（製造のプライドを培う研修）、Well-being研修は既に実施しており、私自身が苦勞した経験や新人時代に受けた傾聴力講座などからの学びを活かしながら、社員が自分らしくがんばろうと思える環境を整えていきたいです。